

一、交渉状況

1、爭議團八京橋工場は社本部二集合、上三ノ伍の會社前ニ至
リ代表數名を擧ケテ（二〇名乃至五〇名位集合スルヲ以テ
其一都度取締事務ニ於テ代表ヲ置キシム）辰崎工務部長相
撫常務、代家燐次等ニ會見熱切ニ不滿解雇及対リ主張シテ
「復職ヲ要求」タル乞会社ハ飽き其、不能ヲ説キテ解雇平當
ニ依ル解決ヲ希望セルニ西者トニ主張強硬ニシテ更ニ讓歩
セサル爲メ毎回不調ニ終リシルカ否月二十三日會見、争議團ヨリ「別說」如キ要求書ヲ会社ニ提出セリ

2、庚三月三十一日以降、交渉ニハ争議團ハ十月分未拂給
料、支拂ヒラ要求シタル結果会社ハ十一月五日支拂フトト
シ約束シタルヲ以テ當日ハ被解雇者六一名カ西村康二引手
ナシテ會社ニ三ツ前述未拂給料ヲ受領シタリ

二、兩者、動靜

1、爭議團側

1、十月十七日京橋工場所一、二、三、一號ニ第二爭議團本部ヲ
設シ爭議團ヲ次々如ク編成シリ

<u>爭議團長</u> 石山隆治	<u>監修部長</u> 長谷川源次郎
<u>調查部長</u> 佐見謙吉	<u>土販部長</u> 弘蘭直澄
<u>情報部長</u> 寺川忠男	<u>通商係</u> 西川 庚
<u>被後部長</u>	
<u>兵站部長</u> 三宅サノ	

只爭議團幹部ハ館込合法的ニ抗争又ヘキラ声明シテリ目下
、必勝別不獲、行動ニ付テサルモ底稿固中ニハ爭議指揮
部、微強的ナルコトヲ批難又ルセ、アル爲メ相當悪化セ
ル模様アリ

3、一面街頭宣傳力最強効果的ナリトシテ爭議發生以來都下
各方面ニ手別ケシテ、時事ヲ讀ムナ。時事ヲ讀選セヨ。